

# 市長レポート

## 原子力発電所の安全対策について 市長会で申し入れを行いました

7月6日、滋賀県市長会で、福井県の関西電力「美浜原子力発電所」と日本原子力研究開発機構「高速増殖炉もんじゅ」を視察するとともに、各事業者に対して、安全確保の申し入れを行いました。

原子力の安全強化等については、4月にも長浜・高島・彦根の3市長とともに緊急申し入れを行っていますが、今回はさらに「電力の安定供給の確保」の視点を加えて要望を行いました。これらの要望事項に対し関西電力からは、「要望を真摯に受け止め、信頼関係の構築に全力で取り組みたい」とのコメントがありました。

また、今回の福井県の訪問の折に、越前市長と懇談することができました。越前市は原発からの距離が30km圏内であり、原発に対する知識や情報について学ぶことが多く、「地域防災計画」の見直し作業の中でこれらのノウハウを反映していきたいと考えています。

(7月6日記)



▲「もんじゅ」のしくみについて説明を受けました。  
(敦賀市のエムシースクエアにて)

### 原子力発電所の 安全対策等に関する要望

- ① 原子力施設のより一層の安全確保について
- ② 監視体制の強化について
- ③ 情報の提供と連携の強化につて
- ④ 原子力災害対策にかかる法律等の見直しについて
- ⑤ 安全協定の締結に向けた検討について
- ⑥ 自然エネルギー導入への積極的な取り組みについて
- ⑦ 電力の安定供給の確保について

伊吹山と言えはかつては夜間登山の人気スポットで、夏の夜には遠くからも頂上を目指す登山者の明かりが道の筋となって見えたものです。

この再興に向け、一昨年から上野区主催で行われている伊吹山夜間登山「幻の伊吹堂に出逢う旅」に、今年も無事参加することができました。

参加者には「山ガール」と呼ばれる若い女性や子ども連れの家族が大変多く、また翌朝の下山時にも、立て続けに頂上を目指す登山客の方にすれ違い、最近の登山ブームを象徴するようにながわいでした。

今年は、前日に梅雨が明けたこともあって好天に恵まれ、さらに幸運にも幻と言われるヒメボタルにも出逢うことができ、天空での光のショーを満喫することができたことを大変喜んでるところです。

この日に備えて1か月程前から早朝ウォーキングを始めていましたが、私も還暦を過ぎたせいなのか、さすがに1合目からの登り下りには、疲れが足にきました。

今後健康づくりと来年の伊吹山登山を目標に、自分のペースで無理をせず早朝ウォーキングを続けていきたいと思っています。

米原市長 泉峰一

(8月1日記)

